

館の運営方針	佐倉市立公民館活動計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割をはたすことに努める。
ジャンルの目標	
地域の素材、人材を十分に活用して、地域の歴史、文化、生活、自然等を学びながら地域が持つ魅力に目を向け、人と人との交流を大切にして、心豊かに健康で安心して暮らせるコミュニティ形成に寄与することを目標とします。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	佐倉・城下町400年事業「ミニぞうりづくり」	佐倉・城下町400年記念事業として、平成22年より実施。江戸時代の作り方をそのまま、現代風にアレンジしたミニぞうりのストラップを作成する。
②	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	地域で生産された安全で新鮮な食材を生かして、地域間交流を図るとともに、昔からの伝統技術を伝える。
③	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾	和田に対する関心を高めるため、地域住民の協力を得ながら和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に体験し、豊かな自然を体感する。
④	終戦70年平和祈念特別展「忘れ得ぬ記憶～戦争と和田村～」	平成2年に和田地区住民の手で編さんされた『忘れ得ぬ記憶』を中心に、地区住民から資料提供、情報提供の協力を求める中で、戦争体験、戦没者遺族の声をパネルで紹介し、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和の尊さを学ぶための機会とする。
⑤	和田地区防災訓練	地域づくりの実践として、現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行う。
⑥	長命大学手芸教室	高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、手芸を通し、高齢者相互の親睦と生き甲斐作りを支援する。
⑦	長命大学交流会	地域の高齢者ばかりでなく、異世代との交流を深め、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施する。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A: 各個別事業の想定課題は正しかった。 B: 各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C: 個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i: 途中で変更した。 ii: そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A: 各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B: 各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C: 各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i: 別の方向に進めた。 ii: そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	佐倉学講座についてはマンネリ化を防ぐための地域素材のさらなる発掘、地区防災訓練については参加者を増やすための工夫、長命大学については健康増進面にも配慮した事業運営を検討していくべきと思われる。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A: 事業拡大。 B: 現状規模での継続。 C: 事業縮小。 D: 目的達成により終了。 E: 統合・改善・その他 ()

総合評価	
A	事業規模 A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果が得られている。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。 E: 現段階では判断できない。

成果
佐倉学事業に対する市民の関心は高く、一部事業では定員を超える参加申込がありました。また、終戦70年平和祈念特別展は、市外からも多くの来館者を迎えるなど大きな反響があり、市内3か所で巡回展も実施しました。地区防災訓練については、住民からの要望を取り入れて、避難所運営訓練を実施しました。長命大学については、生きがいと交流の輪が広がるよう、製作発表の場を設け、体験学習を通じた異世代間の交流を行いました。
課題
地域人材の高齢化が進んでおり、人材の発掘と育成に努めなければならない。 地域団体や関係機関との連携を深める中で、カリキュラム内容の一層の充実と利用者層の拡大を検討していく必要があります。

☆公民館運営審議委員意見

委員①		素晴らしい事業なので、広くPRすることで更に参加者を広げられると良い。
総合評価	A	

委員②		終戦から70年。戦争を体験した世代の方々から語り継ぐべきものは大きいと思います。
総合評価	A	

委員③		和田地区の魅力を是非、市内全体へ発信してほしい。 美味しいやまといもを使った料理レシピ等を広めていってくださることを望みます。
総合評価	A	

委員④		楽しく学べる和田地域塾、和田地区の歴史・自然・生活・民族等を学べる魅力ある事業です。佐倉市の住んで50年が過ぎましたが、和田地域の事を知る機会もなく過ごしてきましたが、今後は講座に参加したいと思います。今後も継続して欲しいことと広く市民への広報を検討してください。
総合評価	A	

委員⑤		【佐倉学入門・楽しく学べる和田地域学】
総合評価	A	地域塾と呼ぶにふさわしいカリキュラムとなっている。地域の特性再確認、伝統行事体験、伝承技術学習、地産地消の食育、地域人材の活用、育成等と、地域学のモデルとも言えるプログラムが溢れている。約半年間継続される講座で、「ねらい」にもあるように、公民館担当者が共に学べるような、いわば公民館職員OJTともなっている。
		人口減少、超高齢化、生活スタイルや意識の「都市化」という大きな課題を抱える中で、地域を足元から見直していく試みは、公民館活動の大きな課題であり、何よりも社会教育の「見える化」なのだと思う。小学校との連携が日常的に図られて作り上げられた社会教育・学校教育環境があることが大きな支えとなっていくと思う。
		盆綱や獅子舞、機織り技術等は、次世代に引き継がない限り、いずれは映像の中、記憶の中に埋もれてしまう。それらは、形だけ残そうとしても残るものでもない。その存在の意味が生活の中で生きていない限り、伝え残すことは難しいと思う。この入門講座は、その入口としての役割を果たしていると思う。奉納獅子舞は、平成17年が最後とのことであったが、踊りの保存としてではなく、ぜひ、地域の伝統行事として復活して欲しいと願うものである。
		蜜の鑑賞にしても、水の流れがあり綺麗であることと、餌になるカワニナが生息していて始めて生息できる蜜は、自然環境を図る指標の一つでもあるが、蜜が夜空を点描するということの意味まで学ぶことが出来るのが現地での鑑賞だろう。自分の暮らす場所で、しかも家族で体験できるということは、何と幸せなことかと思う。これからも、地域に根付いた学習プログラムを積み上げて頂きたいと思う。

委員⑥		地域内の人材活用や特産品の利用、伝統行事・場所の見学など地区ならではのものをカリキュラムに取り入れ、地区住民にとっては改めて自分たちの周りを見直し、他地区の方には田園風景だけではなく魅力を知っていただくよい事業だと思いました。
総合評価	A	

委員⑦		「楽しく学べる和田地域塾」 故郷を誇るには、故郷の行事や特徴を知らないと誇れない。また、和田地区外の方にも和田地区の歴史の深さや豊かな自然等を知ってもらうために体験学習は是非、継続が必要と考えます。
総合評価	A	

委員⑧		同じ佐倉在住でありながら、他の地域を知らない方々は多くいらっしゃる。事例の中のアンケートの「地域を越えて交流することが、佐倉を愛すること」という参加者の方の言葉をいただき、公民館に関わる者としてたいへんうれしく思う。限られた時間や人手の中で昨年のような特別展を開催されたことも含め、大いに評価したい。
総合評価	A	

委員⑨		和田地域塾の7回の事業内容はユニークで、受講者は楽しく学べる内容になっており満足度も高いでしょう。これからも地域の歴史・文化・自然などについて、楽しく学べる塾の事業を展開して下さい。
総合評価	A	

委員⑩		全体的に達成感が高く内容を工夫して取り組んだことが伝わった。地域塾で募集後、定数を臨機応変に対応したことや、「終戦70年平和記念特別展」の巡回展示など大いに賞賛される
総合評価	A	

委員⑪		カリキュラムが工夫されていて魅力的。数年これを恒例化して市内全域に広報活動を広められてはどうかと思った。
総合評価	A	

委員⑫		和田地区の蜜鑑賞会の事業では、昔の自然が失われていくなか、大人も子供も地域の自然環境に関心を持って貰うため、蜜の人工飼育について解説してもらえたらと思います。
総合評価	A	

委員⑬		過疎化の進む中ですが、他地区と比べても自然豊かで、地域の伝統を活かした事業だと思います。アンケートの集約や、自由意見からも参加者の満足度が伺えます。自由意見にもありましたが、和田地区以外の地域の方の参加が増えるよう期待します。
総合評価	A	